SONY Operation Software for DOWN CONVERTER HKSP-525

User's Guide



Universal Control Panel UCP-8060

1st Edition (Revised 1) Japanese/English Software Version 1.10 and Later 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱 説明書の内容の全部または一部を複写すること、およびこの ソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止され ております。

©2003 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第 三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を 負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えい たします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できませ ん。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更するこ とがありますが、ご了承ください。

NOTICE TO USERS

©2003 Sony Corporation. All rights reserved. This manual or the software described herein, in whole or in part, may not be reproduced, translated or reduced to any machine readable form without prior written approval from Sony Corporation.

SONY CORPORATION PROVIDES NO WARRANTY WITH REGARD TO THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE WITH REGARD TO THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR SUCH OTHER INFORMATION. IN NO EVENT SHALL SONY CORPORATION BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL OR SPECIAL DAMAGES, WHETHER BASED ON TORT, CONTRACT, OR OTHERWISE, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF.

目次

概要	4
オペレーションソフトウェアの最新バージョンについて	4
各部の名称と働き	5
メニュー	7
メニューの構成	7
メニュー項目の機能	8
操作	14
オペレーションソフトウェアの起動と終了	14
調整項目の選択	14
調整値の設定	
Unit ID の設定	
オプションメニューの設定	
ステータス表示	
スナップショットデータのセーブとリストア	
ロック機能	20
エラーおよび警告表示	20
エラー / 警告コード一覧	20
" メモリースティック " を使う	21
" メモリースティック " について	21

概要

本ソフトウェアは、ダウンコンバーター HKSP-525 用の オペレーションソフトウェアです。ユニバーサルコント ロールパネル UCP-8060 にインストールして、ネット ワーク上から複数の HKSP-525 をコントロールすること ができます。

オペレーションソフトウェアの最新 バージョンについて

オペレーションソフトウェアの最新バージョンの入手方法 は、ソニーの営業担当にお問い合わせください。

インストール方法については、UCP-8060の Operation Manual をご覧ください。

各部の名称と働き



メモリースティックスロット

メモリースティックの挿入口です。ラベル面を上にして挿 入します。

詳しくは、UCP-8060 の Operation Manual をご覧くださ い。

② システムインジケーター

赤、オレンジまたは緑色に点灯し、システムの動作状態を 表示します。

③ ステータスインジケーター

メモリ-スティックスロットへのアクセス状態や、接続したシステムの状態を赤、オレンジまたは緑色の点灯、点滅で表示します。

4 表示窓

メニューやデータを表示します。画面はタッチパネルに なっています。表示されている項目に触れて選択すること ができます。

⑤ タイトルバー

現在表示されている画面の名称を表示します。

G ステータスエリア

HKSP-525 が装着されているスロット番号やエラー表示な ど、現在のステータスを表示します。

🖸 リストエリア

このソフトウェアでコントロールできる項目がボタンとし て表示されます。コントロールしたいボタンに触れると、 その項目を選択することができます。

調整値表示エリア

調整つまみ1、2、3、4 に割り当てられているパラメー ターとその調整値を表示します。表示されている調整値は、 対応する調整つまみを回して調整することができます。ま た、調整したい調整値表示エリアに触れると数字入力画面 が表示され、数値を入力して調整することもできます。

ジョグローラー 前後に回転し、項目の選択や数字の変更をします。また ローラーを押すと、選択した項目を決定します。

ジョグL、Rボタン
 左側をジョグLボタン、右側をジョグRボタンと呼びます。押して、メニュー階層の移動などに使用します。

① ファンクションボタン

上からファンクションボタン 1、2、..5 と呼びます。操作の状態により、緑、オレンジ、赤に点灯します。

- ファンクションボタン1 (ロック): 押すたびにロック機能 を ON / OFF します。赤く点灯しているときはロッ ク機能が ON、消灯しているときはロック機能が OFF に設定されています。
- ファンクションボタン2、3、4、5:使用しません。

ロック機能については、「ロック機能」(20ページ)をご覧く ださい。

⑦ ステージパスエリア

メニューのパスを表示します。

タスクバー

セレクト L、R ボタンで実行できる項目やキーボードアイ コンなどが表示されます。

🕑 セレクト L、R ボタン

左側をセレクトLボタン、右側をセレクトRボタンと呼び ます。タスクバーの各スイッチに対応する位置に表示され る機能を実行します。

● 調整つまみ 上から調整つまみ 1、2、3、4 と呼びます。パラメーター の調整などに使用します。

メニュー

メニューの構成

このオペレーションソフトウェアのメニューは次のような 構成になっています。





メニュー項目の機能

Slot	Slot1 ~ Slot17:コ ていろ基板のモデリ	ントロールの対象となるスロット名 (最大4文字)とそのスロットに装着され レ名を表示します		
コントロールするス ロットを選択しま す。	ご注意 PFV-SP3300に接続している場合は Slot1 から Slot17 まで、PFV-SP3100 に接続している場合は Slot1 から Slot4 までが表示されます。			
	Unit ID:現在接続し 表示します。設定筆 ご注意 調整つまみでは設え	, CINS PFV-SP3300 または PFV-SP3100 のユニット名(最大 10 文子)を 範囲は 1 ~ 254 で、数字入力画面を使って入力します。 定できません。		
	スロット名およびユニ	ニット名の設定方法は、HKSP-300 のインストレーションマニュアルをご覧ください。		
Convert コンバートモードの調	V Interpolation V のダウンコンバーター補間フィルター係数を A、B、C、D、E の 5 段階で設定します。			
整を行います。	H Interpolation H のダウンコンバーター補間フィルター係数を A、B、C、D、E、F、G、H の 8 段階で設 す。			
	Position 画像位置の調整を行い ます。 ご注意 Aspect の設定が Squeeze のときは、 タッチパネルのボタ ンは暗く表示され、 選択できません。	EC Position Control OFF : 画面の中心部を切り出します。 ON : 切り出し位置を、Edge Crop Position で設定します。		
		ご注意 Aspect の設定が Squeeze または Letter Box 16:9 のときは、タッチパネル のボタンは暗く表示され、選択できません。		
		Edge Crop Position Aspectの設定が Edge Crop または Letter Box(13:9、14:9、15:9)のと き、画面左右方向の切り出し位置を選択します。EC Position Control が ON に設定されているとき有効です。		
		LB Position Control OFF : 画面の中心部に LB 映像をはめ込みます。 ON : 垂直方向はめ込み位置を、Letter Box Position で可変できます。		
		ご注意 Aspect の設定が Squeeze または Edge Crop のときは、タッチパネルのボ タンは暗く表示され、選択できません。		
		Letter Box Position Aspectの設定が Letter Box (13:9、14:9、15:9、16:9)のとき、画面上 下方向のはめ込み位置を選択します。数値が大きいほど、画面上部につく黒 帯部分が広がります。LB Position Control が ON に設定されているとき有 効です。		

Convert (続き)	Aspect 変換するアスペクトは Squeeze:16:9 でそ Letter Box 13:9:4 ます。上下はプラン Letter Box 14:9:4 ます。上下はプラン Letter Box 15:9:4 ます。上下はプラン Letter Box 16:9:4 ます。上下はプラン Edge Crop:左右を	 とを選択します。 そのまま SD OUT に出力します。 4:3 画面の中にアスペクト比 13:9 の画面をそのまま挿入し、SD OUT に出力しンク、左右はカットされます。 4:3 画面の中にアスペクト比 14:9 の画面をそのまま挿入し、SD OUT に出力しンク、左右はカットされます。 4:3 画面の中にアスペクト比 15:9 の画面をそのまま挿入し、SD OUT に出力しンク、左右はカットされます。 4:3 画面の中にアスペクト比 16:9 の画面をそのまま挿入し、SD OUT に出力しンク、左右はカットされます。 4:3 画面の中にアスペクト比 16:9 の画面をそのまま挿入し、SD OUT に出力しンク、左右はカットされます。 	
Setup システム設定を行いま す。	Recall/Store デフォルト値の管理 を行います。	Storeデフォルト値をストアします。User Save:現在の設定をユーザーデフォルトとして保存します。Recallデフォルト値の呼び出しを行います。Factory:工場出荷時のデフォルト値を呼び出します。User:ユーザーが設定したデフォルト値を呼び出します。ご注意User Save で設定を保存していない場合、User の初期設定値は工場出荷時	
	Output 出力の設定を行いま す。	 と同じになります。 7.5% Setup ON:コネクターパネルの MONITOR 端子から出力されるアナログコンポ ジット信号に、7.5% Setup を付加します。ただし、Format を 625 に設 定したときは無効です。 OFF:アナログコンポジット信号に、7.5% Setup を付加しません。 ご注意 Format が 625 のときは、タッチパネルのボタンは暗く表示され、選択でき ません。 Color Bar ON:テスト用カラーバー信号を出力します。 OFF:テスト用カラーバー信号を出力しません。 Matrix 	
		 ON:出力信号に対するリニアマトリクス補正係数をオンにします。 OFF:出力信号に対するリニアマトリクス補正係数をオフにします。 Format 625:1125/50Hz から 625/50Hz ヘダウンコンバートします。 525:1125/59.94Hz から 525/59.94Hz ヘダウンコンバートします。 	

Setup (続き)	Input 入力の設定を行いま す。	9pin Remote 9 ピンリモートコントロールの選択を行います。 GPI:GPI HKDV-900:HDデジタルビデオコントローラーHKDV-900 Ref Input 使用する同期信号を選択します。 Ref B:REF IN B 端子に入力された信号 Ref A:REF IN A 端子に入力された信号 Input Video:ビデオ入力信号
		Matrix 入力信号に対するリニアマトリクス補正係数を選択します。ただし、Format の設定が 625 のときは REC709 に固定です。 240M : 240M REC709 : REC (BT) 709 Auto : Line の設定が 1080 のときは REC (BT) 709、1035 のときは 240M が自動的に選択されます。 ご注意 Format が 625 のときは、タッチパネルのボタンは暗く表示され、選択でき ません。
		 Line 映像領域のラインの切り換えを自動で行うか、手動で行うかを選択します。 ただし、Format の設定が 625 のときは 1080 に固定です。1125/50Hz の HD SDI 信号が入力されているときは無効となり、映像領域のライン数は 1080 となります。 1035:1125/59.94Hz の HD SDI 信号の映像領域のライン数を 1035 に 設定します。 1080:1125/59.94Hz の HD SDI 信号の映像領域のライン数を 1080 に 設定します。 Auto:映像領域のライン数を自動で切り換えます。 ご注意 Format が 625 のときは、タッチパネルのボタンは暗く表示され、選択できません。

Adjust 出力ビデオ信号の調整 を行います。	Cross Color Reduce クロスカラーリデュー スの調整を行います。	Cross Color Reduce On Cross Color Reduce 機能 (Cross Color Cancel および Detail Comb 機 能)をON/OFF します。 OFF:クロスカラーリデュース調整が不可能になります。 ON:クロスカラーリデュース調整を可能にします。 Level 出力信号のクロスカラーキャンセル量を調整します。 設定範囲:0~15 工場出荷時の設定:8 Coring 出力信号のクロスカラーキャンセル量のコアリングレベルを調整します。 設定範囲:0~7 丁提出荷時の設定:4
	Gamma ガンマの調整を行い ます。	Gamma On ガンマ補正機能を ON/OFF します。 OFF: ガンマ調整が不可能になります。 ON: ガンマ調整を可能にします。 Gamma ガンマ補正カーブを調整します。 設定範囲:0~64 工場出荷時の設定: 32
	Detail3 ディテールの調整を 行います。	Detail On ディテール機能を ON/OFF します。 OFF:ディテール調整が不可能になります。 ON:ディテール調整を可能にします。 White Limiter ディテール信号の+(Positive)方向への過大レベルに対してクリップする レベルを調整します。 設定範囲:0~63 工場出荷時の設定:32
		Black Limiter ディテール信号の - (Negative)方向への過大レベルに対してクリップする レベルを調整します。 設定範囲:0~63 工場出荷時の設定:32 Level Depend Gain 暗部のディテールの圧縮量を調整します。 設定範囲:0~15 工場出荷時の設定:8

Adjust (続き)	Detail2 ディテールの調整を 行います。	Detail On ディテール機能を ON/OFF します。 OFF : ディテール調整が不可能になります。 ON : ディテール調整を可能にします。
		Frequency H ディテール信号の周波数を調整します。 設定範囲:0 ~ 3 工場出荷時の設定:2
		H/V Ratio H/V のディテール信号のミックス比を調整します。 設定範囲:1 ~ 7 工場出荷時の設定:4
	Detail1 ディテールの調整を 行います。	Detail On ディテール機能を ON/OFF します。 OFF : ディテール調整が不可能になります。 ON : ディテール調整を可能にします。
		Gain ディテール信号の総合レベルを調整します。 設定範囲:0 ~ 127 工場出荷時の設定:64
		Limiter ディテール信号の + (Positive) および - (Negative) 方向への過大レベル に対してクリップするレベルを調整します。 設定範囲 : 0 ~ 63 工場出荷時の設定 : 32
		Crispening ディテール信号にクリスプニングをかけるレベルを調整します。 設定範囲:0~15 工場出荷時の設定:8
		Level Depend 圧縮する暗部の領域を調整します。 設定範囲:0 ~ 11 工場出荷時の設定:6

Delay	Audio Delay
ディレイ調整を行い	Word:オーディオディレイをワード単位(1/48000 秒)で設定します。
ます。	ご注意
	オーディオディレイの設定範囲は Format および System Delay の設定により異なります。
	Video H-Phase
	Line:ビデオのライン位相をライン単位で設定します。
	Ref Input か Input Video で、かつ System Delay か Minimum の場合: - 1 ~ + 127 それ以外の場合・ - 5 ~ + 5
	工場出荷時の設定:0
	Clock:ビデオのライン位相をクロック単位(13.5MHz)で設定します。
	設定範囲:
	Format が 525 の場合: - 429 ~ + 429 Format が 625 の場合: - 422 ~ + 422
	工場出荷時の設定:0
	System Delay
	・ HD から SD へのダウンコンバート時の遅延時間を設定します。Ref Input が Input Video 時に有効
	です。
	Frame:1フレーム遅延した SD 信号が出力されます。
	Minimum:ミニマム遅延した SD 信号が出力されます。
	ミニマム遅処時間は Format により異なります。
	FOFMAT から25 の場合:42 H Format が 625 の場合・50 H

操作

UCP-8060 に電源が供給されると、システムインジケー ターが赤色に点灯します。機器内部の初期化が正常に終了 するとインジケーターは緑色に点灯し、Main Screen(以 下メイン画面とする)が表示されます。表示窓に表示され るメニューの選択や各種の設定は、ジョグローラー、ジョ グボタン、セレクトボタン、調整つまみを使って行います。 表示窓はタッチパネルになっています。画面に表示されて いる項目に触れて選択することもできます。

オペレーションソフトウェアの起動と 終了

起動するには

- ジョグローラーを回して、HKSP-525をメイン画面で 選択する。
- ジョグローラーを押すか、セレクトRボタン (Launch)を押す。

オペレーションソフトウェアが起動し、トップ画面が 表示されます。



メイン画面で、HKSP-525 ボタンを押して起動することも できます。

オートスタート機能

起動時に、UCP-8060のメイン画面をパスして、直接オペレーションソフトウェアのトップ画面を表示することができます。

オートスタートの設定については、UCP-8060の Operation Manualの「オートスタートの設定」をご覧ください。

終了するには

 HKSP-525 のトップ画面でセレクトLボタン (Option)を押す。

Option Menu が表示されます。

- 2 ジョグローラーを回して、8. Exit Application を選択 する。
- 3 ジョグローラーを押す。

HKSP-525 が終了し、UCP-8060 のメイン画面が表示されます。

Option Menuの 8. Exit Application を押して終了することもできます。

調整項目の選択

画面に表示されているボタンに触れて希望する項目を選択 します。

表示されるボタンには次の3種類の機能があります。

- ・次の選択肢をリスト表示する。
- ・表示されている項目を設定または実行する。
- ・押すたびに ON/OFF の設定を交互に切り換える。

例えば Detail を調整したいときは、次の手順で調整項目を 選択します。

1 最初のステージの Adjust ボタンを押す。

リストエリアの左から2列目に選択肢が表示されま す。



2 表示された選択肢から、希望するボタンを押す。

さらに選択肢がある場合は、次の選択肢が表示されま す。 ON/OFF を設定するボタンの場合は、押すたびに ON/OFF の設定が切り換わります。

操作画面のカーソルについて

調整項目選択中の画面で、リストエリアのボタンに表示さ れるカーソルは、UCP-8060のジョグローラーまたはジョ グL、Rボタンで操作したときのみ移動します。直接画面 上のボタンを押して操作した場合は、カーソルは移動しま せん。

調整値の設定

調整値表示エリアに表示されるパラメーターの値は調整つ まみを回すか、数値を入力して設定します。

調整つまみを使う場合

調整したいパラメーターの右にある調整つまみを回します。

Unity 値の表示



- ▲ マーク: Unity 位置 (ユーザーデフォルト値を表示しま す。)
- バー: Unity 値と現在の設定値が等しい場合、バーが黄色 になります。

数字入力画面を使う場合

1 調整したいパラメーターの調整値表示エリアを押す。

数字入力画面が表示されます。

Frame	02		
	12		Unity
7	8	9	_
4	5	6	Clear
1	2	3	Trim
0	•	Cancel	Enter

2 設定したい数値を入力し、Enterボタンを押す。 現在の設定値から増減するには、数値を入力して Trimボタンを押す。

数字入力画面が消え、入力した数値が調整値表示エリ アに表示されます。 入力した数値を取り消すには、Enter または Trim ボタン を押す前に Clear ボタンを押します。

数値入力を取り消すには

Cancel ボタンを押します。

設定されている値をデフォルトに戻すには Unityボタンを押します。ユーザーが設定したデフォルト 値に戻ります。

詳しくは、9ページをご覧ください。

Unit ID の設定

調整値表示エリアに表示される Unit ID の値は数値を入力 して設定します。

1 リストエリアの Slot ボタンを押す。

調整値表示エリアに Unit ID の調整値が表示されま す。

Unit ID の調整値表示を押す。

数字入力画面が表示されます。

SELECT Unit ID Menu 1_254				
Unit ID	1 Unit Nam	ne SONY		
Group ID 1				
7	8	9	Next Record	
4	5	6	Clear	
1	2	3		
0		Cancel	Connect	

3 設定したい数値を入力し、Connect ボタンを押す。

数字入力画面が消え、入力した数値が調整値表示エリ アに表示されます。

入力した数値を取り消すには、Connect ボタンを押す前に Clear ボタンを押します。

数字入力画面を消すには

Cancel ボタンを押します。

通信履歴のある Unit ID を選択するには

Next Record ボタンを押します。現在の設定値以降の数値 が順番に表示されます。通信履歴のある Unit ID にユニッ ト名がある場合はユニット名を表示します。

オプションメニューの設定

セレクトLボタン(Option)を押すと、Option Menuが 表示されます。ここで設定した値は、電源を切っても保持 されます。

Option Menu			
1. Help			
2. IP Address			
3. Top Page			
4. Menu Tree			
5. Screen Saver			
Background			
Alert Sound			
Exit Application			
	-		
Back	ৰাট্টাচ	13:01:01	

各項目の初期設定は次のとおりです。

2. IP Address	Group ID : 1
(PFV-SP3100/	Category ID: 4
SP3300 接続時)	Unit ID:1
	IP Address : 10.129.4.1
3. Top Page	Default Page
4. Menu Tree	Off
5. Screen Saver	On
	Elapsed Period of Time (min): 10
6. Background	Default
	B:127、G:111、R:111
7. Alert Sound	On

設定する項目を選択するには

次のどちらかの手順で設定したい項目を選択します。

方法 1

設定したい項目を押す。

方法 2

- ジョグローラーを回して設定したい項目を反転表示する。
- **2** ジョグローラーを押す。
- 1. Help

ファンクションボタンの設定を表示します。

2. IP Address

Group ID (設定範囲:1~63), Unit ID (設定範囲:1 ~254)を設定します。

- **1** 2. IP Address を選択する。
- ジョグL、Rボタンを押して変更したい項目を決定する。
- 3 ジョグローラーを回して、数値を変更する。
- **4** セレクト R ボタン (Save)を押す。

変更した値が保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel)を押します。

他の項目の数値を変更したい場合は、手順2、3を繰 り返します。

IP アドレスについて

DATA LAN は Category ID、Group ID、Unit ID の組み 合わせで IP アドレスを決定します。各接続機器は本ルール で Category ID が決まっており、通常 Group ID は 1 に 設定し、Unit ID の指定のみで接続することができます。

通信履歴を消去するには

画面右下の Clear ボタンを押してから手順4を実行しま す。Group ID と Unit ID の変更した値が保存され、通信 履歴が消去されます。

手順4を実行する前に Clear ボタンを再度押すと、消去は キャンセルされます。

3. Top Page

本ソフトウェアを起動するときに、どの画面から起動する かを設定します。

Default Page:トップ画面から起動します。

This Page : Option Menu 選択直前の画面から起動しま す。

- **1** 3. Top Page を選択する。
- 2 ジョグL、RボタンでDefault PageまたはThis Pageを 選択する。
- **3** セレクト R ボタン(Save)を押す。

手順2で選択したページと現在選択しているスロット が保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel)を押します。

4. Menu Tree

トップ画面に、最初のステージ(Slot/Convert/Setup/ Adjust/Delay)のボタンを表示するかどうかを設定しま す。

設定を On にすると、図のように画面の左側に選択ボタン が表示されます。

HKSP-525 HD DOWN CONVERTE	R Version	1.xx	
Slot1			
Slot			
Convert			
Setup			
Adjust			
Delay			
Delay System Delay Minimum			
Option	बङ्का	13:01:01	Status

- 1 4. Menu Tree を選択する。
- **2** ジョグ L、R ボタンで On または Off を選択する。
- **3** セレクトRボタン(Save)を押す。

手順2の選択が保存されます。

変更したくない場合は、セレクトLボタン(Cancel) を押します。

5. Screen Saver

Screen Saver モードの On/Off と、モード開始までの時間(1 ~ 60 (min))を設定します。

- 1 5. Screen Saver を選択する。
- **2** ジョグ L、R ボタンで On または Off を選択する。

On を選択した場合は、次の手順で開始時間を変更し ます。 Off を選択した場合は、手順7へ進みます。

- 3 ジョグローラーを回してカーソルを Elapsed Period of Time に移動する。
- 4 ジョグローラーを押して、数字を反転表示する。
- 5 ジョグローラーを回して Screen Saver モードの開始 時間を設定する。
- 6 ジョグローラーを押して設定した時間を決定する。
- **7** セレクト R ボタン (Save)を押す。

設定した時間が保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel)を押します。

6. Background

表示窓の背景色を設定します。

ご注意

タスクバーは固定色となっているため、背景色を変えることはできません。



黄色のマークが表示されているカラーバーを 調整することができます。

Present には現在の背景色が、パレット A には選択中の背 景色が表示されます。Select1 ~ 4 と Default から好きな 色を選択できます。

カラーバーを使って、Present、Default、Select1 ~ 4の パレットの色を基準に、次の手順で背景色を変更すること ができます。Default と Select1 ~ 4の色は、 6. Background を再度選択すると元の色に戻り、変更され

6. Background を再度選択すると元の巴に戻り、役更され ません。変更した色が保持されるのは Present の背景色だ けです。

- **1** 6. Background を選択する。
- 2 変更したいパレットを選択する。

選択したパレットの色が A に表示されます。

- ジョグローラーを回して変更したいカラーバーを選択 する。
- **4** ジョグ L、R ボタンを押して色を変更する。

手順3、4を繰り返して、3本のカラーバーで色を調 整します。

5 セレクト R ボタン (Save)を押す。

変更した背景色に変わります。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel)を押します。

7. Alert Sound

警告音の On/Off を設定します。

- **1** 7. Alert Sound を選択する。
- **2** ジョグL、Rボタンを押してOnまたはOffを選択する。
- **3** セレクト R ボタン (Save)を押す。

手順2の選択が保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel)を押します。

8. Exit Application

HKSP-525 用オペレーションソフトウェアを終了し、現在 選択しているスロットを自動的に保存して電源立ち上げ時 のメイン画面へ戻ります。

セレクト L ボタン (Back)を押すと、操作画面に戻ります。

ステータス表示

セレクトRボタン (Status) を押すと、HKSP-525の現在の設定状態が一覧表示されます。

[Status Menu					
	Slot	Slot1				
	Aspect	Letter Box 13:9	Detail	On	System Delay	Minimum
	EC Post Control	On	-Gain	64	Video H.Phase(Line)	0
	EC Position	98	-Limiter	32	Video H-Phase(Clock)	0
	LB Posi Control	On	-White Limiter	32	Audio Delay (Word)	0
	LB Position	12	-Black Limiter	32		
	H Interporation	A	-Crispening	8		
	V Interporation	A	-Level Depend	6		
	Input Line	Auto	-Level Depend Gain	8		
	Input Matrix	Auto	-Frequency	2		
	Ref Input	Input Video	-HV Ratio	4		
	9pin Remote	HKDV-900	Gamma	On		
	Output Format	525	-Master Gamma	32		
	Output Matrix	Off	CCR	On		
	Color Bar	Off	-Level	8		
	7.5% Setup	Off	-Coring	4	Refr	esh
\vdash	Exit		रा≜⊳	13	:01:01] Sna	apshot

ステータス表示を更新するには、画面に表示されている Refresh ボタンを押します。

セレクトLボタン(Exit)を押すと、オペレーションソフ トウェアの設定画面に戻ります。

機能していないステータスは、グレー表示されます。

スナップショットデータのセーブとリ ストア

HKSP-525 の現在の設定状態をメモリースティックにファ イルとして保存したり、メモリースティックにファイルと して保持している設定情報を HKSP-525 の設定状態に反 映することができます。

ステータス表示画面でセレクト R ボタン (Snapshot) を 押すと、Save/Restore Snapshot File (スナップショット ファイルセーブ・リストア選択) 画面が表示されます。



スナップショットデータをセーブするには

- 1 ジョグ L、R ボタンを押して Save を選択する。
- **2** セレクト R ボタン (OK)を押す。
- **3** メモリースティックを挿入する。
- **4** セレクトRボタン(Go)を押す。

Save Snapshot File (スナップショットファイルセー ブ) 画面が表示されます。

Save Snapshot File			
File Name : U002S05-01.SD0	;		
Comments : Edge Crop On Modify			
Cancel		[13:01:01]	Execute

メモリースティックに保存するファイル名とファイル に追記するコメントが表示されます。 ファイル名は Unit ID とスロットを元に自動的に作成 され、拡張子は SDC となります。 コメントは HKSP-525 の現在のアスペクトとエッジ クロップポジションの設定値になります。

参考

自動生成されるファイル名は、挿入されているメモ リースティック内のファイル名を検索し、空き番号を 付けたファイル名になります。 例) <u>U001 S05 -01</u>.SDC

ユニット ID スロット 空き番号

ご注意

メモリースティックに ASCII コード以外の文字を使用 したファイル名やフォルダー名が存在すると、ファイ ル名が自動的に作成されない場合があります。

5 セレクトRボタン(Excute)を押す。

メモリースティックの /MSSONY/PRO/UCP/ に、上 記ファイル名で保存されます。 メモリースティックの /MSSONY/PRO/UCP/ がない 場合は、保存時に /MSSONY/PRO/UCP/ が作成され ます。

6 セレクトRボタン(Done)を押す。

ステータス表示画面に戻ります。

ファイル名を変更するには

1 画面上のFile Nameの下にある Modify ボタンを押す。

現在のファイル名の拡張子 SDC が省かれた文字が表示されます。

- 2 画面上のキーボードで編集する。
- **3** セレクトRボタン(OK)を押す。

手順2で編集した文字に拡張子 SDC が追加されます。

変更したくない場合は、セレクトLボタン(Cancel) を押します。

コメントを変更するには

- 画面上のCommentsの下にあるModifyボタンを押す。
 現在のコメントの文字が表示されます。
- 2 画面上のキーボードで編集する。
- **3** セレクト R ボタン (OK)を押す。

変更したくない場合は、セレクトLボタン(Cancel) を押します。 スナップショットデータをリストアするに は

- **1** ジョグ L、R ボタンを押して Restore を選択する。
- **2** セレクト R ボタン (OK)を押す。
- **3** メモリースティックを挿入する。
- **4** セレクトRボタン(Go)を押す。

メモリースティックの /MSSONY/PRO/UCP/ にある 拡張子が SDC のファイル一覧 (Snapshot File List) を表示します。更新日時の新しい順に上から表示しま す。

Restore Snapshot File		
Snapshot File List		
U002S05-01-SDC U001S06-09.SDC U001S06-08.SDC U001S06-08.SDC U001S06-05.SDC U001S06-05.SDC U001S06-04.SDC U001S06-04.SDC U001S06-04.SDC U001S06-01.SDC U001S00-01.SDC U254S05-01.SDC	2003-04-21 19-21 2003-02-27 10:16 2003-02-26 20:37 2003-02-26 20:19 2003-02-26 19:07 2003-02-26 18:20 2003-02-26 18:20 2003-02-26 16:03 2003-02-26 10:02 2003-02-26 09:34 2003-02-25 00:26 2003-01-23 02:09 2003-01-20 05:22	
		0.1.4

ご注意

メモリースティックに ASCII コード以外の文字を使用 したファイル名やフォルダー名が存在すると、ファイ ル一覧を表示しない場合があります。

5 ジョグローラーを回して、設定したいファイル名を反 転表示させ、セレクトLボタン(Select)を押す。

ファイルが保持している設定情報の一覧(スナップ ショットファイルリストア画面)が表示されます。

Restore Snapshot File					
Comments :	Edge Crop ON				
Aspect EC Post Control EC Position LB Posi Control B Interporation Input Line Input Matrix Ref Input 9pin Remote Output Matrix Color Bar	Letter Box 13:9 On 98 On 12 A A Auto Input Video HKDV-900 525 Off Off	Detail -Gain -Limiter -Vhite Limiter -Black Limiter -Orispening -Level Depend Gain -Frequency -HV Ratio Gamma -Master Gamma CCR -Level	On 64 32 32 32 8 6 8 2 4 On 32 On 8	System Delay Video H.Phase(Line) Video H.Phase(Clock) Audio Delay (Word)	Minimum 0 0 0
7.5% Setup Back	Off	-Coring	4	:01:01 Ex	ecute

6 セレクトRボタン(Execute)を押す。

HKSP-525の設定状態への反映が行なわれます。

- **7** セレクト R ボタン (Done)を押す。
 - ステータス表示画面に戻ります。

ロック機能

ジョグローラー、ジョグ L、R ボタン、タッチパネル、調 整つまみの操作を受け付けなくします。

ロック機能を設定するには

ファンクションボタン1を赤く点灯するまで押します。タ スクバーに Lock が表示されます。

ご注意

- ロック機能が設定されていても Option Menu、Status Menu へ移行することはできます。
- ・ Option Menu は、ファンクションボタン1が赤く点灯 していても操作することができます。
- Option Menu、Status Menu 画面では、ファンクションボタン1のロック機能は解除できません。
- ・数字入力画面が表示されているときは、ロック機能を設 定することはできません。

ロック機能を解除するには

ファンクションボタン1を消灯するまで押します。ロック 機能が解除されます。

エラーおよび警告表示

エラーまたは警告状態のときにステータスエリアに次のア イコンが表示されます。ステータスエリアに触れると、エ ラーおよび警告コードを表示します。

器^X(コミュニケーションエラー): 通信ができません。 ∧(警告): ワーニングメッセージがあります。

- 🗙 (エラー) : エラーメッセージがあります。

コミュニケーションエラーの場合は、接続機器の IP アドレ スおよび接続状態を確認し、IP Address の設定をしてくだ さい。

IP Address の設定については、「2. IP Address」(16 ページ) をご覧ください。

セレクト L ボタン(Back)を押すか、ステータスエリア に触れると、エラーおよび警告表示を終了し、操作画面に 戻ります。

エラー / 警告コード一覧

エラー

エラーコード	内容
1-01	POWER SUPPLY ERROR
1-02	EEPROM (IC604) ERROR
1-03	FRAM (IC611) ERROR
1-04	CO-PRO (IC104) ERROR
1-05	UART (IC631) ERROR
1-10	FPGA (IC305) CONFIGURATION NOT
	COMPLETED
1-20	ENCODER (IC307) ERROR
1-21	DOWN CONV (IC110) MISMATCHED
2-01	NO CN BOARD (DIF-138) INSTALLED
2-02	CN BOARD MISMATCHED
2-03	CN BOARD EEPROM (IC2) ERROR

警告

警告コード	内容
1-01	NO REFERENCE INPUT SIGNAL
1-02	REFERENCE INPUT SIGNAL FORMAT MISMATCHED
2-01	NO HDTV SDI VIDEO INPUT SIGNAL
2-02	HDTV SDI VIDEO INPUT SIGNAL FORMAT MISMATCHED

" メモリースティック " を 使う

"メモリースティック"について

"メモリースティック"とは?

- "メモリースティック"は、小さくて軽く、しかもフロッ ピーディスクより容量が大きい新世代の IC 記録メディア です。"メモリースティック"対応機器間でデータをやりと りするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部 記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただ けます。
- "メモリースティック"には、標準サイズのものとその小型 サイズの"メモリースティック デュオ"があります。"メ モリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの"メモリースティッ ク"と同じサイズになり、標準サイズの"メモリース ティック"対応機器でもお使いいただけます。

"メモリースティック"の種類

"メモリースティック"には、用途に応じて以下の6種類が あります。

・"メモリースティック R"

いったん記録されたデータが上書きされない"メモリース ティック"です。"メモリースティック R"対応機器での みデータを記録できます。著作権保護技術(マジックゲー ト)が必要なデータは記録できません。

・" メモリースティック "

著作権保護技術(マジックゲート)が必要なデータ以外の、 あらゆるデータを記録できる"メモリースティック"です。

・" マジックゲート メモリースティック "

著作権保護技術(マジックゲート)を搭載した"メモリー スティック"です。

・" メモリースティック ROM "

あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の"メ モリースティック"です。データの記録や消去はできませ ん。

・" メモリースティック PRO "

"メモリースティック PRO"対応機器でのみお使いいただ ける、著作権保護技術(マジックゲート)を搭載した"メ モリースティック"です。 ・" メモリースティック"(メモリーセレクト機能付き) 内部に複数のメモリー(128MB)を搭載している"メモ リースティック"です。 "メモリースティック"本体裏面のメモリーセレクトスイッ チにより、用途に応じてご使用になるメモリーを選択でき ます。各メモリーを同時に、また連続でご使用することが できません。

使用可能な"メモリースティック"

本機では、"メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"マジックゲートメモリースティック"がご使用い ただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応し ていないため、本機で表示するデータはマジックゲートに よる著作権の保護の対象にはなりません。

" メモリースティック PRO " について 本機で使える "メモリースティック PRO "は 1GB までで す。

" メモリースティック デュオ " について

- ・" メモリースティック デュオ "を本機でお使いの場合は、 必ず" メモリースティック デュオ "をメモリースティッ ク デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- ・"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご 確認ください。
- ・"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるとき は、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間 違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意 ください。
- ・メモリースティック デュオ アダプターに"メモリース ティック デュオ"が装着されていない状態で、"メモ リースティック"対応機器に挿入しないでください。こ のような使いかたをすると、機器に不具合が生じること があります。

データ読み込み / 書き込みスピードについて

お使いの"メモリースティック"と機器の組み合わせに よっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

マジックゲートとは?

マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する 技術です。

"メモリースティック"について



- ・誤消去防止ツマミを「LOCK」にすると記録や編集、消 去ができなくなります。
- ・誤消去防止ツマミの位置や形状は、お使いの "メモリー スティック "によって異なることがあります。
- ・ " メモリースティック デュオ " の誤消去防止スイッチを 動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- ・以下の場合、データが破壊されることがあります。
 読み込み中、書き込み中に"メモリースティック"を
 取り出したり、本機の電源を切った場合
 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した
 場合
- ・大切なデータは、バックアップを取っておくことをおす すめします。

ご注意

- ・ ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでく ださい。
- ・ ラベルを貼るときは所定のラベル貼り付け部に貼ってく ださい。はみ出さないようにご注意ください。
- ・" メモリースティック デュオ "のメモエリアに書き込む ときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてくだ さい。
- ・端子部には手や金属などで触れないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでく ださい。
- ・分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- ・以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 直射日光のあたる場所
 湿気の多い場所や腐食性のある場所

" メモリースティック " の初期化 (フォー マット) について

"メモリースティック"は、出荷時に専用の標準フォーマッ ト形式でフォーマットされています。お客様ご自身で"メ モリースティック"のフォーマットをされる場合には、本 機でフォーマットされることをおすすめします。

"メモリースティック"をパソコンでフォー マットするときのご注意

お手持ちのパソコンなどで"メモリースティック"を フォーマットする場合は、次の点にご注意ください。 パソコンでフォーマットした"メモリースティック"は、 本機での動作を保証いたしません。一度パソコンでフォー マットした"メモリースティック"を、本機で使用するに は、本機で再度フォーマットする必要があります。なお、 この場合"メモリースティック"内に記録してあるデータ はすべて消去されますので、ご注意ください。

メモリーステックのフォーマットのしかたについては、 UCP-8060の Operation Manual をご覧ください。

ステータスインジケーター点灯中および点 滅中は

データの読み込み(緑)、または書き込み(赤)を行ってい ます。このとき、本機に振動や強い衝撃を与えないでくだ さい。また、本機の電源を切ったり、"メモリースティッ ク"を取りはずしたりしないでください。データがこわれ ることがあります。

使用上のご注意

- データの損失を防ぐため、データは頻繁にバックアップを取る ようにしてください。万一、データが損失した場合、当社は一 切その責任を負いかねます。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著 作権上、権利者に無断で使用できません。
- ・本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- Memory Stick Duo ("メモリースティックデュオ") および
 MEMORY STICK DUDは、ソニー株式会社の商標です。
- ・ Memory Stick ("メモリースティック") および 🌰 は、 ソニー株式会社の商標です。
- MagicGate Memory Stick ("マジックゲートメモリー スティック")および MAGICGATE は、ソニー株 式会社の商標です。
- Memory Stick-ROM ("メモリースティック -ROM") および MEMDRY STICK-ROM は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick PRO ("メモリースティック PRO") および
 MEMDRY STICK PRO は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick R ("メモリースティック R") および
 MEMORY STICK-R は、ソニー株式会社の商標です。

Table of Contents

Overview	24
Latest Version of the Operation Software	24
Location and Function of Parts	25
Menu	27
Menu Configuration	27
Functions of the Menu Items	28
Operations	33
Starting and Terminating the Operation Software	
Selecting an Item to be Adjusted	
Adjustment	34
Setting the Unit ID	34
Setting the Option Menu	35
Status Display	
Saving and Restoring the Snapshot Data	
Lock Function	
Error and Warning Display	40
Error/Warning Codes	40
Using a "Memory Stick"	40
About a "Memory Stick"	40

Overview

This operation software controls the HKSP-525 Down Converter. It is installed on the UCP-8060 Universal Control Panel and controls multiple HKSP-525 units via the network.

Latest Version of the Operation Software

As for the latest version of the operation software, consult your Sony representative.

To install the latest version, refer to the Operation Manual for the UCP-8060.

Location and Function of Parts



Memory Stick slot

Insert a Memory Stick with the label side up.

For details, refer to the Operation Manual of the UCP-8060.

2 System indicator

Lights in red, orange, or green to indicates the system operation status.

3 Status indicator

Lights in red, orange, or green to show the status of access to the Memory Stick slot or of the connected system.

4 Display window

Shows a menu or data. The window functions as a touch panel, and you can select a function by touching an onscreen object representing it. The displayed items depend on the operation software to be used.

5 Title bar

Shows the title of the displayed screen.

6 Status area

Shows the current status such as the slot number where the HKSP-525 is installed, error messages, etc.

7 List area

Shows the items that are controlled with this operation software as buttons. When you touch a button, the function assigned to the button is performed.

8 Adjusted value display area

Shows the parameters assigned to the corresponding control knobs and the set values. A value can be adjusted by turning the control knob. You can directly enter the value on the number key screen displayed by touching the desired area.

9 Jog roller

Turn the roller to select an item or change a value. Press the roller to execute the selection.

1 Jog L, R buttons

The left button is called the jog L button, and the right one the jog R button. Press to change the layer of the menu.

① Function buttons

These buttons are called function button 1, 2, \dots 5 from the top, and light in red, orange, or green according to the operation status.

Function button 1 (lock): Turns on and off the lock function.

When the button is lit in red, the lock function is set to ON, and when the button is not lit, the function is set to OFF.

Function button 2, 3, 4, and 5: Not used.

For details on the lock function, see "Lock Function" on page 39.

1 Stage path area

Shows the path of the menu.

13 Task bar

Shows the items performed by pressing the select L or R button, keyboard icon, etc.

1 Select L, R buttons

The left button is the select L button, and the right button is the select R button. Press these buttons to perform the function displayed at the corresponding position on the task bar. The screen display will change accordingly.

Control knobs

The knobs are called control knob 1, 2, 3, and 4 from the top. These are for adjusting the values of parameters displayed on the right of the display window.

Menu

Menu Configuration

The menu configuration of this software is as shown below.





Functions of the Menu Items

Slot1 to Slot17: Shows the slot name (up to four characters) to be controlled, and the model name of the board installed in the slot.			
When the PFV-SP3300 is connected, the slot number (Slot1 to Slot17) appears, and when the PFV-SP3100 is connected, the slot number (Slot1 to Slot4) appears.			
Unit ID: Shows the unit ID (up to 10 characters) of the PFV-SP3300 or PFV-SP3100 currently connected. Available Unit IDs are 1 through 254. Set it using the on-screen numeric keypad. Note The Unit ID cannot be set using the control knob			
For details on setting the	slot name and unit ID, refer to the Installation Manual for the HKSP-300.		
V Interpolation Sets the coefficient of	the down converter interpolation filter for V to A, B, C, D or E.		
H Interpolation Sets the coefficient of the down converter interpolation filter for H to A, B, C, D, E, F, G or H.			
Position	EC Position Control		
Adjusts the picture position.	OFF: For cutting the center of the screen. ON: For setting the position for cutting with Edge Crop Position.		
Note If Aspect is set to Squeeze, the buttons	Note If Aspect is set to Squeeze or Letter Box 16:9, the buttons on the touch panel are dimmed and cannot be selected.		
on the touch panel are dimmed and cannot be selected.	Edge Crop Position Selects the cutting position on the left and right of the screen when Aspect is set to Edge Crop, Letter Box 13:9, 14:9, or 15:9. This is enabled only when EC Position Control is set to ON.		
	LB Position ControlOFF: For inserting the LB picture at the center of the screen.ON: For adjusting the vertical position to insert a picture with Letter Box Position.		
	Note If Aspect is set to Squeeze or Edge Crop, the buttons on the touch panel are dimmed and cannot be selected.		
	Letter Box Position Selects the position for inserting a picture at the top and bottom of the screen when Aspect is set to Letter Box 13:9, 14:9, 15:9, or 16:9. As the value increases, the width of the black belt at the top of the screen becomes greater. This is enabled when LB Position Control is set to ON.		
Aspect Selects the aspect rati	o for conversion.		
Squeeze: The picture	of the original aspect ratio of 16:9 is output from SD OUT.		
Letter Box 13:9: The picture of 13:9 is inserted onto a 4:3 screen as-is, and output from SD OUT.			
The top and bottom parts are blanked, and the left and right parts are cut.			
Letter Box 14:9: The picture of 14:9 is inserted onto a 4:3 screen as-is, and output from SD OUT.			
The top and bottom	parts are blanked, and the left and right parts are cut.		
Letter Box 15:9: The picture of 15:9 is inserted onto a 4:3 screen as-is, and output from SD OUT.			
Letter Box 16:9: The picture of 16:9 is inserted onto a 4:3 screen as-is, and output from SD OUT. The top and bottom parts are blanked, and the left and right parts are cut.			
	of the board installer Note When the PFV-SP3 PFV-SP3100 is con Unit ID: Shows the un- connected. Available Note The Unit ID cannot <i>For details on setting the</i> V Interpolation Sets the coefficient of H Interpolation Sets the coefficient of Position Adjusts the picture position. Note If Aspect is set to Squeeze, the buttons on the touch panel are dimmed and cannot be selected. Aspect Selects the aspect ratis Squeeze: The picture Letter Box 13:9: The The top and bottom Letter Box 16:9: The The top and bottom		

Setup Settings for the system	Recall/Store Managing the default value	Store Stores the default values set by the user. User Save: The current setting values are stored as the user default values. Recall Retrieves the default values. Factory: The default values set at the factory are retrieved. User: The default values set by the user are retrieved. Note If no values have been stored by User Save, the default values for the User and Factory are the same.
	Output Setting the outputs	 7.5% Setup ON: The setup of 7.5% is added to an analog composite signal output from the MONITOR connector on the connector panel. This is disabled when Format is set to 625. OFF: No setup is added to an analog composite signal. Note If Format is set to 625, the buttons on the touch panel are dimmed and cannot be selected.
		Color Bar ON: A color bar signal for testing is output. OFF: No color bar signal for testing is output.
		MatrixON: The coefficient of the linear matrix interpolation for the output signal is set to ON.OFF: The coefficient of the linear matrix interpolation for the output signal is set to OFF.
		Format 625: For down conversion from 1125/50 Hz to 625/50 Hz 525: For down conversion from 1125/59.94 Hz to 525/59.94 Hz

Setup (continued)	Input Setting the inputs	 9pin Remote Selects a 9-pin remote control unit. GPI: GPI HKDV-900: HKDV-900 HD Digital Video Controller
		Ref Input Selects a signal to be used as a reference signal. Ref B: A signal input to the REF IN B connector Ref A: A signal input to the REF IN A connector Input Video: An input video singal
		 Matrix Selects the coefficient of the linear matrix interpolation for an input signal. If Format is set to 625, it is fixed at REC709. 240M: 240M REC709: REC(BT)709 Auto: If Line is set to 1080, REC(BT)709 is selected, and if 1035, 240M is selected.
		Note If Format is set to 625, the buttons on the touch panel are dimmed and cannot be selected.
		 Line Selects whether the number of lines in the video area is switched automatically or manually. If Format is set to 625, it is fixed at 1080. If an HD SDI signal of 1125/50 Hz is input, this is disabled, and the number of lines in the video area is 1080. 1035: The number of lines in the video area for the HD SDI signal of 1125/59.94 Hz is set to 1035. 1080: The number of lines in the video area for the HD SDI signal of 1125/59.94 Hz is set to 1080. Auto: The number of lines in the video area is selected automatically.
		Note If Format is set to 625, the buttons on the touch panel are dimmed and cannot be selected.

Adjusts the output video signal.	Cross Color Reduce Adjusts the cross color reduce.	Cross Color Reduce On Sets the Cross Color Reduce function (Cross Color Cancel and Detail Comb functions) ON or OFF. OFF: The cross color reduce adjustment is disabled. ON: The cross color reduce adjustment is enabled. Level Adjusts the amount of cross color cancel for an output signal. Adjustable range: 0 to 15
		Coring Adjusts the coring level of the cross color cancel for an output signal. Adjustable range: 0 to 7 Factory setting: 4
	Gamma Adjusts the gamma.	Gamma On Sets the Gamma adjustment ON or OFF. OFF: The gamma adjustment is disabled. ON: The gamma adjustment is enabled.
		Gamma Adjusts the gamma curve. Adjustable range: 0 to 64 Factory setting: 32
	Detail3 Adjusts the details.	Detail On Sets the detail function ON or OFF. OFF: The detail adjustment is disabled. ON: The detail adjustment is enabled.
		White Limiter Adjusts the clipping level of a detail signal for the excess level in the + (positive) direction. Adjustable range: 0 to 63 Factory setting: 32
		Black Limiter Adjusts the clipping level of a detail signal for the excess level in the – (negative) direction. Adjustable range: 0 to 63 Factory setting: 32
		Level Depend Gain Adjusts the amount of compression for a detail signal in the dark area. Adjustable range: 0 to 15 Factory setting: 8
	Detail2Detail OnAdjusts the details.Sets the detail function ON or OFF.OFF: The details adjustment is disabled.ON: The detail adjustment is enabled.	Detail On Sets the detail function ON or OFF. OFF: The details adjustment is disabled. ON: The detail adjustment is enabled.
		Frequency Adjusts the frequency of an H detail signal. Adjustable range: 0 to 3 Factory setting: 2
		H/V Ratio Adjusts the mixing ratios of the H and V signals. Adjustable range: 1 to 7 Factory setting: 4

Adjust (continued)	Detail1 Adjusts the details.	Detail On Sets the detail function ON or OFF.
(continued)		OFF: The details adjustment is disabled. ON: The detail adjustment is enabled.
		Gain Adjusts the total gain of a detail signal. Adjustable range: 0 to 127 Factory setting: 64
		Limiter Adjusts the clipping level for the excess level in the + (positive) and - (negative) directions for a detail signal. Adjustable range: 0 to 63 Factory setting: 32
		Crispening Adjusts the level of crispening for a detail signal. Adjustable range: 0 to 15 Factory setting: 8
		Level Depend Adjusts the amount of compression in the dark area. Adjustable range: 0 to 11 Factory setting: 6
Delay	Audio Delay Word: Sets the audio	o delay in units of words (1/48000 second).
	Note The adjustable range	varies depending on the settings for Format and System Delay.
	Video H-Phase	
	Line: Sets the line pl	hase of a video signal in units of lines.
	Adjustable range:	C
	If Ref Input is se Otherwise: -5 to	t to Input Video and System Delay is set to Minimum: -1 to $+127$ +5
	Factory setting: 0	nhase of a video signal in units of clock nulses (13.5 MHz)
	Adjustable range:	
	If Format is set to	o 525: -429 to +429
	If Format is set to Factory setting: 0	5625: -432 to +432
	System Delay	
	Sets the delay time for Video.	or converting from HD to SD. This is enabled when Ref Input is set to Input
	Frame: An SD signa	al delayed by 1 frame is output.
	Minimum: An SD s	ignal of minimum delay is output.
	Note The minimum delay If Format is set to 52	time varies depending on the Format. 5: 42H
	If Format is set to 62	5: 50H

Operations

When the power is supplied to the UCP-8060, the system indicator lights in red. When initialization of the unit is finished normally, the indicator lights in green, and the Main Screen appears in the display window. You can select the menu or items or adjust the parameters displayed in the window with the jog roller, jog buttons, select buttons, and control knobs. The display window also functions as a touch panel, and you can select the menu and items, by touching on-screen objects.

Starting and Terminating the Operation Software

Starting the operation software

- **1** Turn the jog roller to select the operation software to be started on the Main Screen.
- **2** Push the jog roller or the select R button (Launch).

The selected operation software is activated.



You can select the operation software by touching the appropriate on-screen object on the Main Screen.

Auto Start Function

When the auto start function is set, the top page of this operation software appears instead of the Main Screen of the UCP-8060 when the power of the UCP-8060 is turned on.

For details on setting the auto start function, refer to the Operation Manual of the UCP-8060.

Terminating the operation software

1 Press the select L button (Option) on the top page of this operation software.

The Option Menu appears.

- **2** Turn the jog roller to select "8. Exit Application."
- **3** Push the jog roller.

The operation software terminates, and the Main Screen appears.

You can also select "8. Exit Application" by touching in on the screen.

Selecting an Item to be Adjusted

Touch a button on the touch panel to select your desired item.

The buttons are classified into three types as follows:

- To display the next layer
- To set or perform the displayed item
- To toggle the item ON or OFF

For example to adjust Detail, follow the procedures below.

1 Press the Adjust button on the first stage.

The list of choice appears on the second column from the left.



2 Press the desired button among the displayed list.

The following list of choices appears if there are any. If the button has a function to toggle ON or OFF, setting is changed to ON or OFF each time the button is pressed.

Cursor on the operation panel

A cursor displayed in list area moves only when you select an item to be adjusted by using the jog roller or jog L and R buttons are used. If you touch the button directly, the cursor does not move.

Adjustment

You can adjust the values displayed in the adjusted value display area with the control knob or directly enter the values.

Adjusting using the control knob

Turn the control knob corresponding to the parameter to be adjusted.

Displaying the Unity value



▲ mark: Unity position (shows the user default value) Bar: The bar appears in yellow when the Unity value and the current setting are the same.

Adjusting using the numeric key display

1 Touch the adjusted value display area whose value is to be adjusted.

The numeric key display appears.

Frame 02				
	Unity			
7	8	9	-	
4	5	6	Clear	
1	2	3	Trim	
0	•	Cancel	Enter	

2 Enter the value to be set, then press the Enter button.

To trim the set value, enter the value, then press the Trim button.

The numeric key display disappears, and the entered value is shown in the adjusted value display area.

To clear the entered value, press the Clear button before pressing the Enter or Trim button.

To cancel the entered value

Press the Cancel button.

Retrieving the default values

Press the Unity button. The default values set by User Save is retrieved.

For details, see page 29.

Setting the Unit ID

The Unit ID displayed in the adjusted value display area is set by entering the numeric value.

1 Press the Slot button in the list area.

The Unit ID appears in the adjusted value display area.

2 Press Unit ID in the adjusted value display area.

The numeric keypad appears.

ELECT Unit ID Menu 1_254					
Unit ID	1 Unit Nan	ne SONY			
Group ID 1					
7	8	9	Next Record		
4	5	6	Clear		
1	2	3			
0		Cancel	Connect		

3 Enter the value to be set, then press the Connect button.

The numeric keypad disappears, and the entered value is shown in the adjusted value display area.

To clear the entered value, press the Clear button before pressing the Connect button.

To cancel the entered value

Press the Cancel button.

To select a Unit ID that includes the communication history

Press the Next Record button. The values following the current setting appear in order. If the Unit ID with the communication history has a unit name, that also appears.

Setting the Option Menu

If you press the select L button (Option) on the display, the Option Menu appears. The settings made on this menu are retained even if the power is turned off.

0.6			
Option Menu			
1. Help			
2. IP Address			
3. Top Page			
4. Menu Tree			
5. Screen Saver			
6. Background			
7. Alert Sound			
8. Exit Application			
Back	बार्द्धान	13:01:01	

Default settings are as shown below.

2. IP Address (when a PFV-SP3100/ SP3300 is connected)	Group ID: 1 Category ID: 4 Unit ID: 1 IP Address: 10.129.4.1
3. Top Page	Default Page
4. Menu Tree	Off
5. Screen Saver	On Elapsed Period of Time (min): 10
6. Background	Default B:127, G: 111, R: 111
7. Alert Sound	On

Selecting an item to be set

Select an item using either the following two methods:

Method 1

Touch an item you intend to set.

Method 2

1 Turn the jog roller to highlight the item to be set.

2 Press the jog roller.

1. Help

Shows the setting for the function buttons.

2. IP Address

You may set the Group ID (setting range: 1 to 63) and Unit ID (setting range: 1 to 254).

- 1 Select "2. IP Address."
- **2** Press the jog L or R button to select an item to be changed.

- **3** Turn the jog roller to change the setting.
- **4** Press the select R button (Save).

The changed value is stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

To set another item, repeat steps **2** and **3**.

IP address

The IP address of the DATA LAN is decided by the combination of Category ID, Group ID, and Unit ID. Normally the Category ID has been decided, and the Group ID is set to 1 so that specifying the Unit ID is enough to enable the connection.

To clear the communication history

Press the Clear button in the lower right of the display, and perform step **4**. The value whose Group ID and Unit ID have been changed is stored, and the communication history is cleared.

If you press the Clear button again before performing step

4, clearing of the communication history is canceled.

3. Top Page

Select the start page displayed when this software starts. **Default Page:** Top page is displayed.

This Page: The page just before the Option Menu is selected is displayed.

- 1 Select "3. Top Page."
- 2 Select Default Page or This Page with the jog L or R button.
- **3** Press the select R button (Save).

The selection in step **2** and the currently selected slot number are stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

4. Menu Tree

Set whether to display the buttons for the first stage (Slot/ Convert/Setup/Adjust/Delay) or not. When set to On, the buttons appear on the left of the display as shown below.



- Select "4. Menu Tree."
- **2** Select On or Off with the jog L or R button.
- **3** Press the select R button (Save).

The selection in step **2** is stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

5. Screen Saver

Set the screen saver function On or Off, and the period to start the screen saver mode (1 to 60 minutes).

- 1 Select "5. Screen Saver."
- **2** Select On or Off with the jog L or R button.

If you select On, set the period to start the screen saver mode. If you select Off, skip to step **7**.

- **3** Turn the jog roller to move the cursor to Elapsed Period of Time.
- **4** Press the jog roller to highlight the set value.
- **5** Turn the jog roller to set the period to start the screen saver mode.
- **6** Press the jog roller to decide the set period.
- **7** Press the select R button (Save).

The set period is stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

6. Background

Set the background color of the display window.

Note

The color of the task bar is fixed. You cannot change the background color.



Yellow dot shows the color bar being adjusted.

Palette Present shows the current background color, and palette A shows the color to be adjusted. You can select any desired color from Select 1 through 4, and Default. The background color can be changed based on the color of Present, Default, and Select 1 to 4 with the following procedures. When 6. Background is selected again, the color of Select 1 to 4 and Default returns to the original color. The color of Present only is kept.

- **1** Select "6.Background."
- **2** Select the palette to be changed.

The color of the selected palette appears in A.

- **3** Select a desired color bar by turning the jog roller.
- 4 Press the jog L or R button to change the color.

Adjust the color repeating steps $\mathbf{3}$ and $\mathbf{4}$ using three color bars.

5 Press the select R button (Save).

The background color changes.

If you do not change the color, press the select L button (Cancel).

7. Alert Sound

Set the alert sound On or Off.

- 1 Select "7. Alert Sound."
- **2** Press the jog L or R button to select On or Off.
- **3** Press the select R button (Save).

The selection in step **2** is stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

8. Exit Application

Terminates the operation software for the HKSP-525 and stores the currently selected slot number automatically. Then Main Screen is displayed.

When you press the select L button (Back), the operation display appears.

Status Display

Press the select R button (Status), and a list of settings for the HKSP-525 is displayed.

Status Me	nu					
Slot		Slot1				
Aspect		Letter Box 13:9	Detail	On	System Delay	Minimum
EC Post C	ontrol	On	-Gain	64	Video H.Phase(Line)	0
EC Positio	n	98	-Limiter	32	Video H-Phase(Clock)	0
LB Posi Co	ontrol	On	-White Limiter	32	Audio Delay (Word)	0
LB Position	1 I	12	-Black Limiter	32		
H Interport	ation	A	-Crispening	8		
V Interpora	tion	A	-Level Depend	6		
Input Line		Auto	-Level Depend Gain	8		
Input Matri	х	Auto	-Frequency	2		
Ref Input		Input Video	-HV Ratio	4		
9pin Remo	te	HKDV-900	Gamma	On		
Output For	mat	525	-Master Gamma	32		
Output Ma	trix	Off	CCR	On		
Color Bar		Off	-Level	8		
7.5% Setu	D	Off	-Coring	4	Refr	esh
Exit			ब≣्चा	13	:01:01 Sna	apshot

To update the Status display, press the Refresh button.

If you press the select L button (Exit), the setting display for the operation software is retrieved.

The status of any disabled item is grayed.

Saving and Restoring the Snapshot Data

The current settings of the HKSP-525 can be stored in a Memory Stick as a file, and also the data stored in the Memory Stick can be read and used by the HKSP-525. Press the select R button (Snapshot) on the Status display. The Save/Restore Snapshot File display appears.

Save/Restore Snapshot File
Please choose operation. Save or Restore? Save O Restore
Cancel (13:01:01) OK

Saving the snapshot data

- **1** Press the jog L or R buttons to select Save.
- **2** Press the select R button (OK).
- **3** Insert the Memory Stick in the Memory Stick slot.
- **4** Press the select R button (Go).

The Save Snapshot File display appears.



File Name (to store data in the Memory Stick) and Comments appear.

The filename is automatically created based on the Unit ID and slot number, and has the extension SDC. Comments shows the current settings of the aspect and edge crop position of the HKSP-525.

Information

The filename is automatically created by checking the filename stored in the Memory Stick and assigning an unused number. **Example:** <u>U001 S05-01</u>.SDC

Unit ID Slot Unused number

Note

If a filename or folder name having any non-ASCII characters exists in the Memory Stick, the filename may not be created automatically.

5 Press the select R button (Execute).

The file is stored with the filename created above in the folder /MSSONY/PRO/UCP/ in the Memory Stick.

If /MSSONY/PRO/UCP/ does not exist in the Memory Stick, it is created automatically when storing data.

6 Press the select R button (Done).

The Status display is retrieved.

To change the filename

1 Press the Modify button under File Name on the display.

The characters of the current filename, excluding the extension SDC, appear.

- **2** Modify the filename using the keyboard on the display.
- **3** Press the select R button (OK).

The extension SDC is added to the characters modified in step **2**. To cancel the modification, press the select L button (Cancel).

Modifying the comments

1 Press the Modify button under Comments on the display.

The current comments appear.

- **2** Modify the filename using the keyboard on the display.
- **3** Press the select R button (OK).

To cancel the modification, press the select L button (Cancel).

Restoring the snapshot data

- **1** Press the jog L or R button to select Restore.
- **2** Press the select R button (OK).
- **3** Insert the Memory Stick into the Memory Stick slot.
- **4** Press the select R button (Go).

A list of files with the extension SDC in /MSSONY/ PRO/UCP/ in the Memory Stick (Snapshot File List) appears.

Restore Snapshot File		
Unor25:011 SDC U001505-01 SDC U001505-08 SDC U001505-07 SDC U001505-05 SDC U001505-01 SDC U001505-01 SDC U001500-11 SDC U24505-01 SDC	2003-04-21 19-21 2003-02-27 10:16 2003-02-26 20:37 2003-02-26 20:37 2003-02-26 19:07 2003-02-26 19:07 2003-02-26 19:07 2003-02-26 19:02 2003-02-26 09:34 2003-02-26 09:34 2003-02-26 09:34	
Cancel	ation:01	Select

Note

If a filename or folder name having any non-ASCII characters exists in the Memory Stick, the file list may not appear.

5 Turn the jog roller to highlight the filename to be set on the HKSP-525, then press the select L button (Select).

The Restore Snapshot File display appears.

(Restore Snaps	shot File				
	Comments :	Edge Crop ON				
	Aspect	Letter Box 13:9	Detail	On	System Delay	Minimum
	EC Post Control	On	-Gain	64	Video H.Phase(Line)	0
	EC Position	98	-Limiter	32	Video H-Phase(Clock)	0
	LB Posi Control	On	-White Limiter	32	Audio Delay (Word)	0
	LB Position	12	-Black Limiter	32		
	H Interporation	A	-Crispening	8		
	V Interporation	A	-Level Depend	6		
	Input Line	Auto	-Level Depend Gain	8		
	Input Matrix	Auto	-Frequency	2		
	Ref Input	Input Video	-HV Ratio	4		
	9pin Remote	HKDV-900	Gamma	On		
	Output Format	525	-Master Gamma	32		
	Output Matrix	Off	CCR	On		
	Color Bar	Off	-Level	8		
	7.5% Setup	Off	-Coring	4		
-	Back		ता≜ा	13	:01:01] Ev	recute

6

Press the select R button (Execute).

The data selected in step **5** are used as settings of the HKSP-525.

7 Press the select R button (Done).

The Status display is retrieved.

Lock Function

The lock function disables operation of the jog roller, the jog L and R buttons, the control knobs, and the touch panel.

To set the lock function

Hold the function 1 button pressed until it lights in red. "Lock" will then appear on the task bar.

Notes

- You can display the Option Menu and Status Menu even if the Lock function is set.
- The Option Menu is operable even if the function 1 button is lit in red.
- The Lock function cannot be released on the Option Menu and Status Menu.
- When the numeric key display is displayed, the lock function cannot be set.

To release the lock function

Hold the function 1 button pressed until it goes out, and the lock function is released.

Error and Warning Display

If you touch the status area in error or warning status, one of the following icons will appear. If you touch the status area, an error or warning code is displayed.



E (communication error): A communication error has been generated.

(warning): A warning message is posted.

(error): An error message is generated.

If a communication error has been generated, check the IP address and the connections, and set the IP address correctly.

For details on IP address setting, see "2. IP Address" on page 35.

When you press the select L button (Back) or touch the status area, the display of the error or warning code is terminated, and the operation display appears.

Error/Warning Codes

Error Codes

Error codes	Contents
1-01	POWER SUPPLY ERROR
1-02	EEPROM (IC604) ERROR
1-03	FRAM (IC611) ERROR
1-04	CO-PRO (IC104) ERROR
1-05	UART (IC631) ERROR
1-10	FPGA (IC305) CONFIGURATION NOT COMPLETED
1-20	ENCODER (IC307) ERROR
1-21	DOWN CONV (IC110) MISMATCHED
2-01	NO CN BOARD (DIF-138) INSTALLED
2-02	CN BOARD MISMATCHED
2-03	CN BOARD EEPROM (IC2) ERROR

Warning Codes

Warning codes	Contents
1-01	NO REFERENCE INPUT SIGNAL
1-02	REFERENCE INPUT SIGNAL FORMAT MISMATCHED
2-01	NO HDTV SDI VIDEO INPUT SIGNAL
2-02	HDTV SDI VIDEO INPUT SIGNAL FORMAT MISMATCHED

Using a "Memory Stick"

About a "Memory Stick"

What is "Memory Stick"?

"Memory Stick" is a new compact, portable and versatile IC (Integrated Circuit) recording medium with a data capacity that exceeds a floppy disk.

"Memory Stick" is specially designed for exchanging and sharing digital data among "Memory Stick" compatible products. Because it is removable, "Memory Stick" can also be used for external data storage.

"Memory Stick" is available in two sizes: standard size and compact "Memory Stick Duo" size. Once attached to a Memory Stick Duo adapter, "Memory Stick Duo" turns to the same size as standard "Memory Stick" and thus can be used with products compliant with standard "Memory Stick."

Types of "Memory Stick"

"Memory Stick" is available in the following six types to meet various requirements in functions.

"Memory Stick-R"

Stored data are not overwritten. You can write data to "Memory Stick-R" with "Memory Stick-R" compatible products only. Copyright protected data that requires MagicGate copyright protection technology cannot be written to "Memory Stick-R."

"Memory Stick"

Stores any type of data except copyright-protected data that requires the MagicGate copyright protection technology.

"MagicGate Memory Stick"

Equipped with the MagicGate copyright protection technology.

"Memory Stick-ROM"

Stores pre-recorded, read-only data. You cannot record on "Memory Stick-ROM" or erase the pre-recorded data.

"Memory Stick PRO"

Equipped with the MagicGate copyright protection technology, designed for use only with equipment compatible with "Memory Stick PRO."

"Memory Stick" (with memory select function)

Equipped with the multiple memories (128 MB). You can select the memory to use with the memory selects switch on the back of the "Memory Stick." You cannot use different memories simultaneously or continuously.

Available types of "Memory Stick"

You can use various of "Memory Stick," "Memory Stick" and "MagicGate Memory Stick" with your product. However, because your product does not support the MagicGate standards, data recorded with your product is not subject to MagicGate copyright protection.

Note on "Memory Stick PRO"

You can use up to "Memory Stick PRO" (up to 1GB) with your product.

Notes on "Memory Stick Duo"

- To use "Memory Stick Duo" with your product, attach it to the Memory Stick Duo adapter before inserting it into your product.
- Be sure to attach "Memory Stick Duo" to the adapter with the correct orientation.
- Be sure to insert the Memory Stick Duo adapter with the correct orientation. Otherwise, the product may be damaged.
- Do not insert the Memory Stick Duo adapter without "Memory Stick Duo" attached. Doing so may result in malfunction of the product.

Note on data read/write speed

Data read/write speed may vary depending on the combination of the "Memory Stick" and "Memory Stick" compliant product you use.

What is MagicGate?

MagicGate is copyright protection technology that uses encryption technology.

Before using a "Memory Stick"



- When you set the "Memory Stick" erasure prevention switch to "LOCK," data cannot be recorded, edited, or erased.
- The position and shape of the write-protect tab may differ depending on the "Memory Stick" to be used.
- Use a sharp object, such as a ballpoint pen, to move the "Memory Stick Duo" erasure prevention switch.

- Data may be damaged if:
 - You remove the "Memory Stick" or turn off the unit while it is reading or writing data.
 - You use the "Memory Stick" in a location subject to the effects of static electricity or electric noise.
- We recommend that you make a backup copy of important data that you record on the "Memory Stick."

Notes

- Do not attach anything other than the supplied label to the "Memory Stick" labeling position.
- Attach the label so that it does not stick out beyond the labeling position.
- Do not write forcefully on the "Memory Stick Duo" memo area.
- Carry and store the "Memory Stick" in its case.
- Do not touch the connector of the "Memory Stick" with anything, including your finger or metallic objects.
- Do not strike, bend, or drop the "Memory Stick."
- Do not disassemble or modify the "Memory Stick."
- Do not allow the "Memory Stick" to get wet.
- Do not use or store the "Memory Stick" in a location that is:
 - Extremely hot, such as in a car parked in the sun
 - Under direct sunlight
 - Very humid or subject to corrosive substances

About formatting "Memory Stick"

When "Memory Sticks" are shipped from the factory, they are already formatted to a special standard. When you format "Memory Stick," we recommend formatting them on this product.

Caution when formatting "Memory Stick" on a personal computer

Pay attention on the following points when formatting "Memory Stick" on a personal computer. Operation of "Memory Stick" formatted on a personal computer is not guaranteed on this product. To use a "Memory Stick" that has been formatted on a personal computer, the "Memory Stick" must be reformatted on this product. If it is not reformatted, all data stored on the "Memory Stick" will be lost.

For details on formatting a "Memory Stick," refer to the Operation Manual for the UCP-8060.

Status Indicator

If the status indicator is turned on or is flashing, data is being read from or written to the "Memory Stick." At this time, do not shake the computer or product or subject them to shock. Do not turn off the power of the computer and product or remove the "Memory Stick." This may damage the data.

Precautions

- To prevent data loss, make backups of data frequently. In no event will Sony be liable for any loss of data.
- Unauthorized recording may be contrary to the provisions of copyright law.
- The "Memory Stick" application software may be modified or changed by Sony without prior notice.

"Memory Stick Duo" and **MEMORY STICK DUO** are the trademarks of Sony Corporation.

"Memory Stick" and $\bigoplus_{MEMORY STICK}$ are the trademarks of Sony Corporation.

"MagicGate Memory Stick" and **MAGICGATE** are the trademarks of Sony Corporation.

"Memory Stick-ROM" and **MEMORY STICK-ROM** are the trademarks of Sony Corporation.

"Memory Stick PRO" and **MEMORY STICK PRO** are the trademarks of Sony Corporation.

"Memory Stick R" and **MEMORY STICK-R** are the trademarks of Sony Corporation.

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明 内容は機器購入者の使用を目的としています。

従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容(操作、保 守等)と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Sony Corporation and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual.

Sony Corporation expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Sony Corporation.

HKSP-525 (UCP-8060) (SY) 3-791-022-**02**(1)

Sony Corporation

http://www.sony.net/